

資料Ⅲ－3

供給者に対する意見照会結果

質問事項	割合(%)
●全分野共通	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	50.0%
b 時々活用している	25.0%
c 活用していない	25.0%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	34.4%
b ある程度満足できる	50.0%
c 不満足である	15.6%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	17.4%
b ある程度満足している	69.6%
c 不満足	13.0%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	12.9%
b ある程度満足している	54.8%
c 不満足	6.5%
d 掲載されていることを知らなかった	25.8%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	33.3%
b ある程度確保されている	66.7%
c 確保されていない	0.0%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	58.1%
b 特に便益を受けていない	41.9%
資料提供招請・意見招請の基準額(80万SDR)	
a 適当である	90.6%
b 引下げが必要である	6.3%
c 引上げが必要である	3.1%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	34.5%
b " にある程度寄与している	58.6%
c " に寄与していない	6.9%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	17.6%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	64.7%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	17.6%

質問事項	割合(%)
●電気通信・医療技術分野共通	
資料提供招請・意見招請の基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	91.7%
b 引下げが必要である	4.2%
c 引上げが必要である	4.2%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	47.8%
b 概ね適当である	52.2%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	91.3%
b 引下げが必要である	4.3%
c 引上げが必要である	4.3%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	27.6%
b 概ね措置どおりに行われている	69.0%
c 措置どおりに行われていない	3.4%
●その他	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	33.3%
b 概ね適当である	57.1%
c 適当でない	9.5%
総合評価落札方式の導入基準額（80万SDR） (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	90.5%
b 引下げが必要である	9.5%
c 引上げが必要である	0.0%
「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」及び「情報システムに係る政府調達の基本指針」による取組み	
a 適当である	40.9%
b 概ね適当である	45.5%
c 適当でない	13.6%

※クエスチョンアヘは計35者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。